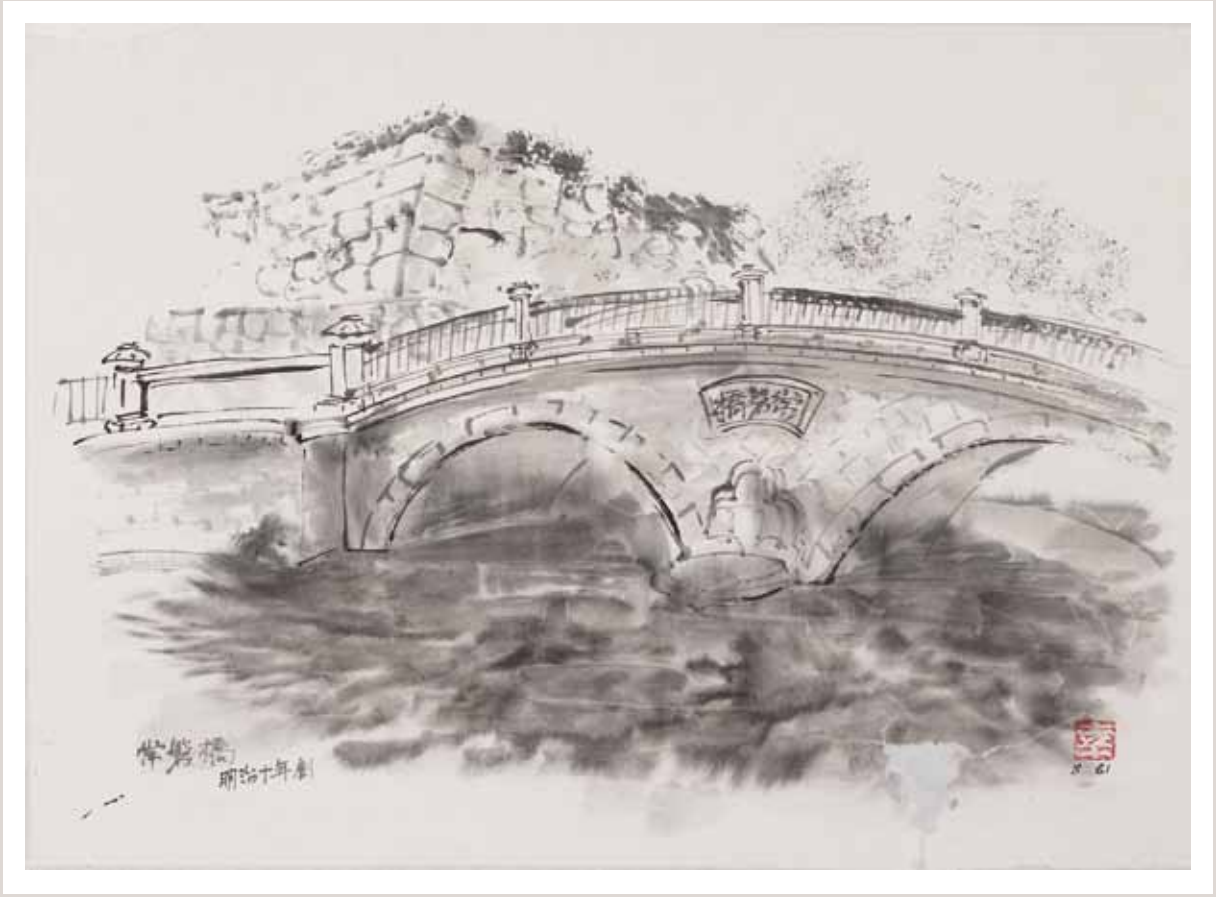
中央区文化･国際交流振興協会だより

Chuo Cultural And International Exchange Association



「常磐橋」（1990 年）小川幸治　中央区郷土天文館所蔵

● 特集 ●

文楽を知る ❶

「文楽の世界を楽しむ」 文楽研究家　高木秀樹

- 平成 26 年度の事業計画と予算
- 中央区　ひと　粋・活き　中央区文化財サポーター協会
- 中央区まるごとミュージアム

No.61 July 2014

中央区文化･国際交流振興協会発行

文化講座

文楽を知る ❶
「文楽の世界を楽しむ」

文楽研究家
高木秀樹



❶筆者による講義「文楽の世界を楽しむ」

わたくしは昨年、中央区の皆様に“文楽のすばらしさ”をご案内させていただきました。中央区と言えば「国劇の殿堂」歌舞伎座のお膝元ですね。その歌舞伎で演じられる多くの演目『義経千本桜』『菅原伝授手習鑑』『仮名手本忠臣蔵』といったものは、もともと文楽という人形芝居の作品で、それが後に歌舞伎へ移されました。

なぜそういうことになったのでしょう。文化講座「文楽を知る」では第二回の実演解説に先がけ、第一回で文楽の概略、これは歴史や特徴、そしてどういった点が魅力なのか、映像資料を交え具体的にご案内しました。(写真❶)

高木秀樹　プロフィール



文楽研究家。文楽と歌舞伎の同時解説放送・イヤホンガイド解説者
NHK 教育テレビ『文楽鑑賞入門』講師
著書に『あらすじで読む名作文楽 50』(世界文化社)、『文楽手帖』(角川書店)

文楽は世界一の人形芝居

文楽は人形芝居として世界一である・・・。これは全世界の演劇関係者が認める事実で、2009 年には国連の文化機関・ユネスコから「世界無形文化遺産」の登録もされました。

では文楽のどういった点が優れているのでしょう。それは大きく分けて、①音楽がすばらしい。②人形の技術が卓越している。③感動的な名作の数々がある。以上三点で、その優れた点を歴史的な経緯を交えてご案内します。

物語に節を付けて語る浄瑠璃

まず最初に紹介するのは音楽。文楽では「義太夫節～ぎだゆうぶし」という音楽が使われております。これは江戸時代、竹本義太夫という人物が工夫した語りの音楽のことで、彼の名を取って義太夫節と言います。歌舞伎芝居では長唄・常磐津・清元、それに義太夫節など演目によって様々な音楽が用いられますが、文楽では義太夫節のみです。

義太夫節は浄瑠璃の一つ。浄瑠璃とは“物語に節を付けて語る音楽“のことで、常磐津や清元、また歌舞伎『助六』で用いられる河東節(かとうぶし)も、それに当たります。物語に節を付けて語る音楽・芸能の元祖は、鎌倉時代に『平家物語』を語った琵琶法師だったと言われます。

元は浄瑠璃姫物語から

「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり・・・」。人々は涙して物語を聴きましたが、聴衆としても毎回悲劇ばかりでは、さすがに飽きてしまいます。「琵琶法師さん、今度は別の曲をやって欲しいなあ･･･」。そうした要望に応え出来た新作が『浄瑠璃姫物語』でした。

平安後期の平家全盛時、京の鞍馬山にいた源氏の御曹司、後の源義経こと牛若丸は奥州平泉（現・岩手県）へ落ち延びることになり、途中、三河国（現・愛知県）矢作(やはぎ)の長者の元に宿泊。その長者の娘が浄瑠璃姫で牛若丸と恋に落ちたのです。この二人の熱い恋物語が『浄瑠璃姫物語』でした。

さあ､これを聴いた聴衆は熱狂します。琵琶法師がまたぞろ「祇園精舎の鐘の声・・・」を始めると思ったら、それまで聴いたことのないラブロマンスを語り始めたのです。もうそうなると『平家物語』は人気を失い､「法師さん『浄瑠璃姫物語』をやってくれ、浄瑠璃だ浄瑠璃だ」とリクエストを受け、以降、物語に節を付けて語る芸能は“すべて”浄瑠璃と呼ばれるようになったといいます。

浄瑠璃は当初、盲目の法師が琵琶で演奏しておりましたが、16 世紀の後半、安土桃山時代に琉球から渡った三線（蛇皮線）を改良した“三味線”が楽器として使われるようになります。そして江戸時代になり現在の文楽の元祖、浄瑠璃語り竹本義太夫が現れます。

神事の人形芸と娯楽の人形芸

文楽の優れている理由、二点目は人形です。そもそも人形の芸は大きく分けて二つ。神社の祭礼などで神に捧げられる“神事”としての人形芸と、観客が純粋に“娯楽”として楽しむ人形芸が

ありました。講座では神事の人形芸の実例として、山梨県甲府市に残る「天津司の舞」の映像をご覧いただきました。

これは“御船囲い”と呼ばれる幕で囲まれた、直径５～６メートルほどの円形の場所で演じられる人形芸で、観衆は幕の外から“覗き見るような形”になります。なぜそのようなことになっているのでしょう。これは人間の観客にではなく、神様に奉納するため演じられているからなのです。

天津司の舞は五百年近く形を変えていないと言います。映像で見る舞は素朴そのもので、このように昔のままという点が貴重なのでしょう。その点、娯楽の人形芸は全く考えが異なり、目の前で見てくれる観客が喜んでくれる芸、もっとハッキリ言えば“儲かる金になる芸”をしなくてはなりません。

娯楽としての人形芸がいつ発生したのか。古い記録では鎌倉時代の学者・大江匡房（まさふさ）が『傀儡記～くぐつき』の中で、平安時代（西暦1000年ころ）朝鮮半島から渡来した傀儡師のことを記しております。傀儡師は自らの口で物語を語り、小さな人形（30センチから50センチ程度）を操りました。

浄瑠璃と人形がドッキング

音楽の浄瑠璃は耳だけで楽しむもの。人形は遣い手が簡単な物語を語って操る。このように別々の芸として歩んでいた両者が、やがて融合し「人形浄瑠璃」、人形と浄瑠璃が一体となった芸能が生まれます。頃は慶長年間の初期（1596～98年）、京の浄瑠璃語り目貫屋長三郎と、淡路島出身の人形遣い引田淡路掾の両者でした。



❷竹本座跡・石碑

そして江戸時代に入り、先に触れた大坂出身の浄瑠璃語り・竹本義太夫が現れます。義太夫はそれまでの浄瑠璃名人の語りを研究、やがて自己の義太夫節を完成させ、貞享元年（1684年）には大坂道頓堀に「竹本座」（写真❷）を旗揚げします。この新しい義太夫節が世に出ると、それ以前の浄瑠璃は古いスタイルの“古浄瑠璃”という扱いになってしまい、竹本座は他の一座を圧倒、人形浄瑠璃界の頂点に立ったのです。

文楽は歌舞伎のお母さん

文楽が優れている点の三つ目、それは名作の数々があること。音楽としての義太夫節、そして人形がすばらしくても、作品が良くなければ感動は得られません。竹本義太夫が竹本座の経営者である座主をしていた頃、義太夫を“座付き作者”として助けた盟友が近松門左衛門です。竹本座は人形浄瑠璃界でトップには立っておりましたが、興行上のライバル・歌舞伎に押され苦しい経営状態にありました。

そうした中、義太夫に請われ作品を提供したのが近松で、現在に残る名作『曽根崎心中』が空前の大当たりとなり、竹本座の累積赤字は一気に解消、近松は正式に竹本座の専属作者である座付き作者となりました。そして『菅原伝授手習鑑』『仮名手本忠臣蔵』『妹背山婦女庭訓』といった作品の“原作”を書いたのも近松で、後の作者に大きな影響を与えました。そうした点から近松は「作者の氏神」と呼ばれております。

現在、歌舞伎で上演されている全演目の約三割は、もともと人形浄瑠璃・文楽のために書かれた作品です。初期の歌舞伎は踊りを中心とした“レビュー形式”で、しっかりした筋立ての作品が少なかったのです。そこで文楽の作品を“借用”したという次第で、つまり文楽は「歌舞伎のお母さんに当たる芸能」と言えましょう。

語り分けと三人遣い

第一回の講座では、文楽の音楽が義太夫節になるまで。そして人形の芸と融合し人形浄瑠璃に発展するまでの経緯。また作品が歌舞伎に移された理由を述べました。

文楽の大きな魅力である義太夫節と人形。その芸について具体的にご案内したのが第二回の講座で、そちらでは太夫・三味線・人形、この“三業”の皆様による実演解説がありました。

舞台には老若男女、様々な人物が登場します。そうした人物を義太夫節では原則として一人で語ります。そこで「これは誰の語りで、こちらは誰の語り」と、しっかり区別をつける“語り分け”をしなければなりません。三味線も人物を弾き分けます。


❸三人による人形遣い

また人形では、一体の人形を三人の人形遣いで操ります。これは“三人遣い”という形式（写真❸）で文楽人形の最も大きな特徴です。この三人遣いが考案されたことで、文楽人形は“人間を越えた動き”が可能になったのです。このあたり詳細は次回の号とさせていただきます。

平成 26 年度の事業計画と予算の概要をお知らせします。事業内容の詳細が決定していない事業については、決まり次第協会のホームページや区のおしらせに掲載いたします。

平成 26 年度事業計画

文化振興事業

1　機関誌発行・ホームページの更新

「中央区文化・国際交流振興協会だより」を発行するとともに、ホームページを更新し、協会の事業紹介や最新のイベント情報をお知らせします。

情報誌

部　　数：5,500 部　A4 判
発行回数：年 2 回発行（7 月－ 61 号　12 月－ 62 号）

ホームページ

URL：http://www.chuo-ci.jp/

2　芸術・文化の普及

（1）コンサート

区民に親しみやすい音楽鑑賞の機会を提供します。

日　　時：平成 26 年 10 月 3 日（金）午後 6 時 40 分開演
場　　所：日本橋公会堂ホール「日本橋劇場」
内　　容：白石啓太とラテン・カルナヴァル
～今陽子をゲストに～
ワクワク陽気な音楽会！（仮称）
参 加 費：1,500 円
定　　員：424 名
詳　　細：追ってお知らせします。


今陽子


平成 25 年度コンサート

（2）文化講座

各種文化、歴史等について、専門家の講話を聞きその理解を深める機会です。今年度は「落語と江戸」をテーマに、落語の世界を通して江戸のくらしや庶民文化に触れる講座を開催します。

第 一 回
日　　時：平成 26 年 9 月 18 日（木）
昼の部　午後 4 時～ 5 時 30 分
夜の部　午後 6 時 45 分～ 8 時 15 分

第 二 回
日　　時：平成 26 年 9 月 25 日（木）
昼の部　午後 4 時～ 5 時 30 分
夜の部　午後 6 時 45 分～ 8 時 15 分

内　　容：文化講座「落語を通して見る江戸の庶民文化」
講　　師：落語家　金原亭　馬生
場　　所：月島社会教育会館　4 階　ホール
定　　員：昼の部、夜の部、各 240 名


平成 25 年度文化講座

（3）特別文化講演会

展覧会に関する講演会を NHK との共催で開催（年 3 回程度）します。
講演会参加者には展覧会の招待券を、お一人様 1 枚差し上げます。

①バルテュス展
日　　時：平成 26 年 4 月 16 日（水）午後 6 時 50 分開演
場　　所：日本橋公会堂ホール「日本橋劇場」
講　　師：日本女子大学教授　河本　真理
参 加 費：無料
定　　員：424 名

②ボストン美術館　華麗なるジャポニスム展
日　　時：平成 26 年 7 月 24 日（木）午後 6 時 50 分開演
場　　所：日本橋公会堂ホール「日本橋劇場」
講　　師：世田谷美術館　企画担当課長　遠藤　望
参 加 費：無料
定　　員：424 名

（4）古典芸能鑑賞会

中央区に深い関わりをもつ舞踊、浄瑠璃などの古典芸能を鑑賞する機会です。
中央区を中心に活躍されている古典芸能実演家を構成員とする「中央区古典芸能の会」に企画・制作をお願いします。

日　　時：平成 26 年 6 月 21 日（土）午後 5 時開演
場　　所：日本橋公会堂ホール「日本橋劇場」
内　　容：講話、落語、舞踊「常磐津 松廼羽衣」、長唄、舞踊「長唄 正札附根元草摺引」
参 加 費：2,000 円（中学生以下は 1,000 円）
定　　員：382 名


平成 25 年度古典芸能鑑賞会

（5）文化推進事業助成

協会の目的とする事業を推進するため、区民が主体となって行う文化振興事業の後援及び事業実施に要する経費の一部を助成します。

助成件数：15 件
助成金額：事業に要する経費の 1/2 で 10 万円が限度

（6）中央区まるごとミュージアムの開催

区民や区外参加者の方々が区内をバスや船で回遊しながら、民間の文化事業を含む区内の様々な文化的な魅力を楽しみ享受できる文化イベント（第 7 回）を中央区との共催で開催します。
開 催 日：平成 26 年 11 月 2 日（日）
詳　　細：8 頁参照

（7）文化振興プロデュースチーム

「中央区文化振興プラン」の提言を受け、区民（企業、NPO 等を含む）の自主的な文化活動の推進・拡大を図るため、平成 20 年度に文化の専門家からなるプロデュースチームを設置しました。今後も、具体的な文化事業の企画・立案、文化ボランティアの育成等について検討を進めます。
構 成 員：6 名

国際交流振興事業

（1）国際交流のつどい

外国人と日本人との文化交流の促進と相互理解を深めるため、年に 1 度開催します。
日　　時：平成 26 年 11 月 15 日（土）正午～午後 4 時
場　　所：築地社会教育会館
内　　容：伝統文化体験、国際交流サロン、懇談、防災コーナー等

(1) INTERNATIONAL EXCHANGE PARTY

This event is to be held once a year to promote cultural exchange as well as deepen mutual understanding between Japanese and foreign residents.
Date & Time: Sat, November 15, 2014　12:00 – 16:00
Place: Tsukiji Social Education Center
Fee: Free



平成 25 年度国際交流のつどい

（2）国際交流サロン

外国人と日本人が気軽に交流が出来る場を提供します。ボランティアによる企画･運営により懇談、お茶の体験、七夕等を実施しています。
日　　時：毎月 1 回（年 11 回）原則として土曜日の午後
場　　所：協会講習室ほか

(2) INTERNATIONAL EXCHANGE SALON

In this salon, both Japanese and non-Japanese residents can enjoy free and open communication with each other. For the people who want to make a lot of friends and who want to enjoy conversation in Japanese and experience of Japanese culture, various events such as Tanabata and tea ceremony are scheduled to take place. Why don't you come and join us?
Date & Time: once a month (11 times a year), basically Saturday afternoon (varies depending on the events)
Place: Lecture Room of CCIEA Office
Fee: Free
For more information, contact CCIEA.



国際交流サロン

（3）日本語教室

日本語でコミュニケーションをとることが困難な区内在住・在勤の外国人を支援するため、日本語教室を開設しています。また、教室参加希望者の増加や多様化する要望に対応するため、ボランティア主催による教室の支援も行っています。



日本語教室

［協会主催の日本語教室］

教室	水曜日教室	木曜日教室	土曜日教室
日時	第 1・2・3 水曜日	第 1・2・3 木曜日	第 2・3・4 土曜日
時間	午後 6 時 30 分～8 時	午前 10 時～11 時 45 分	午前 10 時～ 12 時
場所	女性センター（ブーケ 21）	協会講習室	協会講習室

［協会が支援する日本語教室］

教室	ワールドフレンズ 日曜にほんごクラブ	日本語おたすけたい	月島日本語倶楽部
日時	毎週日曜日	月曜日（月 3 回）	毎週火曜日
時間	午前 10 時～ 11 時 30 分	午後 7 時～ 8 時 30 分	午前 10 時～ 12 時
場所	日本橋社会教育会館	日本橋社会教育会館	月島社会教育会館
教室	日本語コミュニケーション・パートナー	銀座日本語教室	にこにこ日本語
日時	第 1・2・3 火曜日	第 1・2・3 水曜日	第 1・2・3 木曜日
時間	午後 7 時～ 8 時 30 分	午前 10 時～11 時 30 分	午後 7 時～ 8 時 30 分
場所	新富区民館	築地社会教育会館	佃区民館
教室	にほんご生活		
日時	毎週土曜日		
時間	午後 2 時～ 3 時 45 分		
場所	レインボーハウス明石		

(3) JAPANESE LANGUAGE CLASSES

Chuo Cultural and International Exchange Association (CCIEA) offers Japanese Language classes by volunteer teachers. Besides, we sponsor the classes which are hosted by volunteers in order to meet various demands of increasing students.

I Japanese Classes that we host:

Class	Wednesday Class	Thursday Class	Saturday Class
Schedule	The 1st, 2nd & 3rd Wednesdays	The 1st, 2nd & 3rd Thursdays	The 2nd, 3rd & 4th Saturdays
Time	18:30~20:00	10:00~11:45	10:00~12:00
Place	Chuo-ku Women's Center "Bouquet 21", 4th fl. Work room, (1-1-1 Minato, Chuo-ku, Tokyo)	CCIEA Office 3rd fl. Lecture Room, (1-13-24 Shintomi, Chuo-ku, Tokyo)	CCIEA Office 3rd fl. Lecture Room, (1-13-24 Shintomi, Chuo-ku, Tokyo)
Fee	Fee About ¥2,500(no fee for the lesson, only for the textbook)		

II Other Japanese Classes that we sponsor:

Class	World Friends Sunday Japanese Club	Nihongo Otasuketai	Tsukishima Nihongo Club
Schedule	Every Sunday	Monday (3 times per month)	Every Tuesday
Time	10:00~11:30	19:00~20:30	10:00~12:00
Place	Nihonbashi Social Education Center (Nihonbashi Elementary School Complex Facility 7th-9th fl.,1-1-17 Nihonbashi-ningyocho Chuo-ku, Tokyo)	Nihonbashi Social Education Center, (Nihonbashi Elementary School Complex Facility 7th-9th fl.,1-1-17 Nihonbashi-ningyocho Chuo-ku, Tokyo)	Tsukishima Social Education Center, (Tsukishima Community Center 4th and 5th fl. 4-1-1 Tsukishima, Chuo-ku, Tokyo)
Class	Partners of NIHONGO Communication	Ginza Japanese Language Class	NIKO NIKO NIHONGO
Schedule	The 1st, 2nd & 3rd Tuesdays	The 1st, 2nd & 3rd Wednesdays	The 1st, 2nd & 3rd Thursdays
Time	19:00~20:30	10:00~11:30	19:00~20:30
Place	Shintomi Community Hall (1-13-24 Shintomi, Chuo-ku, Tokyo)	Tsukiji Social Education Center, (4-15-1 Tsukiji Chuo-ku, Tokyo)	Tsukuda Community Hall (2-17-8 Tsukuda, Chuo-ku, Tokyo)
Class	Nihongo Seikatsu		
Schedule	Every Saturday		
Time	14:00~15:45		
Place	Rainbow House Akashi (1-6 Akashicho, Chuo-ku, Tokyo)		
Fee	Fees differ depending on the class.		

(4) 日本語指導者養成講座

区内在住・在勤の外国人に対し日本語を教えるボランティアを養成するための講座を開催します。

日　　程：6 月 11 日～ 9 月 27 日　15 回（30 時間）
場　　所：協会講習室又は新富区民館
講　　師：明海大学外国語学部　講師　西川寛之
定　　員：30 名

(5) 日本語フォローアップ講座

外国人に日本語を教えるボランティアの指導力を高めるため、フォローアップ講座及びステップアップ講座を開催します。

(6) ボランティア活動支援

協会では次の 6 種類のボランティア登録を行っています。また，協会登録ボランティアの活動を支援するため、講習会の開催や連絡会議などを開催します。

①日本語ボランティア
②国際交流サロンボランティア
③通訳・翻訳ボランティア
④イベントスタッフボランティア
⑤防災語学ボランティア
⑥ホームステイ・ホームビジットボランティア

講 習 会：年 2 回

(7) 姉妹都市親善写真展

姉妹都市であるオーストラリア・サザランド市との交流・親善を一層深めるため、お互いの生活や風景、行事等を紹介する写真を相互に交換し、親善写真展を開催します。

日　　程：平成 27 年 2 月予定
場　　所：3 か所で展示（区役所、日本橋区民センター、月島区民センター各 1 階）

(8) 外国客船歓迎式

東京港晴海埠頭に着岸する外国客船の入港時の歓迎行事に参加し、記念品の贈呈を行います。

(9) 国際交流推進事業助成

協会の目的とする事業を推進するため、区民が主体となって行う国際交流推進事業の後援及び事業の実施に要する経費の一部を助成します。

助成件数：3 件
助成金額：事業に要する経費の 1/2 で 10 万円が限度

平成 26 年度予算

＜収入＞

科　目	予算額（円）	説　明
事業収入	1,295,000	コンサート、古典芸能鑑賞会参加費等
区補助金	86,347,000	区からの補助金
寄付金	1,000	
雑入	10,000	預金利子
収入合計	87,653,000	

＜支出＞

科　目	予算額（円）	説　明
事業費	50,312,000	
文化振興費	44,431,000	文化振興事業に要する経費
国際交流振興費	5,881,000	国際交流振興事業に要する経費
管理費	36,841,000	
人件費	33,124,000	職員の給与に関する経費
管理運営費	3,717,000	理事会、事務費等
予備費	500,000	
支出合計	87,653,000	

中央区
ひと　粋・活き

シリーズで、文化振興・国際交流の推進に活躍している方や団体をご紹介します。

中央区文化財サポーター協会

この町に暮らすメンバーが五感で町を案内！
まち歩きツアーで年間1700人以上に
中央区の歴史や文化、魅力を語り伝えています

中央区観光協会主催の「まち歩きツアー」をはじめ、秋の恒例イベント、“中央区まるごとミュージアム”の人気企画「まち歩き」などで、中央区の魅力を案内するボランティアガイド団体、中央区文化財サポーター協会。まとめ役のおひとり、黒野富太郎さんにお話を伺いました。

「中央区文化財サポーター協会」の生い立ちと、現在の活動について教えてください。

活動をはじめて、今年で10年目を迎えました。かつてあった「中央区文化財サポーター養成講座」を修了した有志が集まり、中央区の様々な魅力を伝えようと、活動をはじめました。現在は、区民カレッジ卒業生が加わり、27名のメンバーが持ち回りで、年間120～130件のまち歩きツアーをガイドしています。普段は観光協会を窓口に、お申込みいただいた個人や団体の方たちを、ご希望にあわせたコースでご案内しています。そのほか、区民カレッジの「街歩き楽しみ隊」では、座学の講座と連動した街歩きを企画したり、まるごとミュージアムでは特別コースを設けたりして、いろんな角度から中央区の多彩な魅力を伝えています。

どんなコースを、どのようにガイドして歩くのですか？

区内を９つのエリアにわけて、いろいろな切り口やコースを自分たちで考え、案内していきます。人気のコースは、日本橋、銀座、築地、佃・月島などです。私たちがガイドする際に大事にしているのが、“五感で町を案内する”こと。学者先生が語るんじゃなくて、いわば、熊さん・八っつぁんのガイドです（笑）。中央区は江戸時代には城下町として栄え、近代では東京の発展をリードしてきた中心地。数多くの歴史物語や文化があり、それらすべてが今現在の我々の生活につながっています。同じ場所で暮らす私たちの目線で、自分たちの町の魅力を語る。それが私たちらしいガイドだと考えています。だからメンバーは、中央区で生まれ育った、若しくは、何年間か暮らしたことがあるのが条件です。だれもこれでご飯を食べようなどと思っていなくて、愛すべき郷土である中央区の魅力を、しつこく何度も語り伝えられることを楽しんでやっている人ばかりです（笑）。

今後、活動はどんな広がりをみせていきそうですか？

2020年に東京オリンピックが開催されることになり、中央区にも選手村が建設されます。そこで、今年は新たにオリンピックをテーマにした特別コースをつくりました。また、私を含め英語でガイドできる者が2名、フランス語でできる者が1名います。海外からのお客様もご案内できるよう、いっそう語学の勉強もしていきたいです。メンバーそれぞれが持ち味を生かして、これからも多くの人に中央区の魅力を語り伝えていきたいと思っています。


築地コースの案内

●プロフィール
2005年10月、中央区教育委員会の「中央区文化財サポーター養成講座」を修了したサポーターの有志により設立された、中央区初の登録認定まち歩きボランティアガイド団体。年間を通じて一般申込み者をガイドするほか、春と秋の区報公募の歴史散歩ガイド、区民カレッジ講座での街歩き、毎年11月に開催される“まるごとミュージアム”での特別コースガイドなど、知識と経験豊富なガイド陣が精力的に活動中


まるごとミュージアム「まち歩き」


区民カレッジ
シニアコース　クラブ
学習「街歩き楽しみ隊」


月島地域での外国人に向けた案内

中央区 まるごとミュージアム

日時 平成 26 年 11 月 2 日（日）
おおむね 9：00 ～ 17：00

主催 中央区、中央区文化・国際交流振興協会

会場 中央区全域

中央区の様々な文化的な魅力を体験していただける、第７回目の「中央区まるごとミュージアム」を開催します。
本年も、名所・旧跡を巡るまち歩きや美術館・画廊での美術鑑賞、文化団体等による作品展など各種のイベントが行われますので、ぜひ、区民の皆様をはじめ大勢の方々にご参加していただき、中央区の文化的な魅力をお楽しみください。
ここでは、昨年実施された文化事業をご紹介いたします。


バス（晴海バス停）


船（朝潮運河船着場）


ペン・ステーションミュージアム


プラネタリウムまるごと投影


日本橋・江戸桜通り演奏会


「水辺探検」ワークショップ作品展示会


アートはるみ　みんなの広場
～体験しよう！絵本の世界！～


アフタヌーン・ギャラリーズ
by 画廊の夜会（柳家さん生落語会）


ヘブンアーティスト


中央区まるごとフェスタ
（スペシャルステージ）


中央区まるごとフェスタ
（中央区から始まった食文化体験）


中央区まるごとフェスタ
（中央区アンテナショップまるごと体験）

①銀座奥野ビル 306 号室プロジェクト企画展
②銀座将棋まつり
③ひま？ならヒマラヤ！～ネパール・ヒマラヤ小学校応援プロジェクト
④築ッズこども料理教室 親子で体験 干物作り！　築地市場 写真まつり
⑤ペン・ステーションミュージアム
HIROYUKI DOI　Pen&Art
「まるごとアート体験 2013」
⑥プラネタリウムまるごと投影
⑦リリ・レイが贈る
フランス原語シャンソンコンサート
⑧第 65 回中央区民文化祭
「築地社会教育会館作品展」
⑨バリアレス・ハートギャラリー
⑩組み木絵作家・中村道雄展
⑪美術展鑑賞会（三井記念美術館）
⑫にちぎん体験 2013
⑬建物一斉公開イベント
open ！ architecture
日本橋・江戸桜通り演奏会
⑭小津和紙史料館見学
⑮まるごとミュージアムは面白いのか？
検証会議
⑯トルナーレライブコンサート
⑰くるま屋 人力車体験
⑱薬研堀講談の会
⑲凧の博物館 特別無料開放
⑳「水辺探検」ワークショップ作品展示会
㉑今日もまるごと 1 日いきいき館まつり
㉒アートはるみ みんなの広場
～体験しよう！絵本の世界！～
㉓晴海フラワーフェスティバル 2013
インフィオラータ in Triton
㉔晴海 Autumn Festival
㉕まち歩き「まるごとミュージアム特別コース」
㉖アフタヌーン・ギャラリーズ by 画廊の夜会
㉗ハローなかぎん！街歩き＆メタボリズム探求
㉘第一生命ホール 大人のためのリハーサル見学＆バックステージツアー
㉙ヘブンアーティスト
㉚まるごとミュージアムの日は手ぶらで銭湯へ
㉛まるごとミュージアムクイズラリー
㉜中央区まるごとフェスタ

表紙

常磐橋
小川　幸治

常盤橋門跡のこの橋は浅草橋御門から奥州道へと通じている。明治 10 年（1877 年）に石造の橋として門跡石垣の一部を使用して架け替えられた。現存する都内で最古の洋式石造アーチ橋である。橋柱には「磐」の字が刻まれている。「皿」より「石」の方が割れにくいだろうと縁起を担いで、この文字を使っている。

特集記事は「文楽の世界を楽しむ」です。昨年度の文化講座では世界に誇る代表的な伝統芸能である「文楽」をテーマに開催しましたので特集いたします。「ひと　粋・活き」では、まるごとミュージアム等で「まち歩き」を実施されている「中央区文化財サポーター協会」の活動についてお話をお聞きしました。
本年の「まるごとミュージアム」は 11 月２日に開催しますので、中央区の魅力ある文化をたくさんの方々に心ゆくまで楽しんでいただきたいと思います。

発行／中央区文化・国際交流振興協会　〒 104-0041　東京都中央区新富 1-13-24　新富分庁舎 3F　TEL 03-3297-0251　FAX 03-3297-0253　URL: http://www.chuo-ci.jp/